

| 活動名 | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|----------------------|------------------------------------|--|--|
| 室内レクリエーション（GGG用具を使用） | | | | | | |
| 概要 | ○グループ単位で、協力しながら、与えられた課題解決型ゲームに取り組む。（※団体で自主的に行う活動） | | | |  | |
| ねらい | ○ゲームを通してコミュニケーション能力を育てる。 ○ゲームを達成することで、仲間がいることの大切さや楽しさに気づく。 | | | | | |
| 関連教科等 | 学活・道徳・総合 | | | | | |
| 指導形態 | ①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う | | | | | |
| 時期 | 通年 | 時間帯 | 日中 | 対象 | 中学年～ | |
| 場所 | 第1・2研修室、第5研修室、体育館、屋外集会所 | 人数 | ～40人程度 (6～10人/1班) | 所要時間 | 1～2時間・ | |
| 準備物 | 施設で準備できるもの | | | 団体・個人で準備するもの | | |
| | ゲームに必要な道具 | | | 活動に適した服装,体育館シューズ（体育館で行う場合） | | |
| 進め方・展開例 | | | | | | |
| 内容 | | | 留意点 | | | |
| 活動前 | ○打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・物品の受け渡し（準備物参照） | | | ※雨天時のみの場合も実施可能 | | |
| 活動の説明 | ○人間関係づくりゲームをすることを伝える。 （時と場合に応じて臨機応変に、「活動の目的」や「活動中に意識していくこと」などを伝える） | | | ○活動前に簡単なアイスブレイクゲームを行うとスムーズに活動に入れる。 | | |
| 展 開 | ○ゲームのすすめ方は以下の流れで行う。 ・ルール説明⇒ゲーム開始 ⇒次のゲームの繰り返し | | | | | |
| | 活動名 | 概 要 | | | | |
| | 浅利富士をつくろう | グループで協力しながら、特製マジックハンドを使って木片を積んでいく。 | | | | |
| | ラインナップ | 板の上にグループの全員が乗り、指示に従って落ちないように並び替えをする。 | | | | |
| | 協力の一本橋 | 4～7mの丸太の上を手をつないで渡りきる。 | | | | |
| | バンブーライン | 竹製の短い筒を一人一人が持ってつなげ、目的地まで球を運ぶ。 | | | | |
| | フープリレー | グループ全員で輪になって手をつなぎ、フラフープを1周させる。 | | | | |
| | キャッチボール | ウニボールでキャッチボールをする。キャッチした場所の得点を足し、チームで高得点を目指す。 | | | | |
| | バケツツボール | 班のみんなでシートの端を持ち、シートをあおりながらボールをバケツの中に入れる。 | | | | |
| | キャッチング・ザ・スティック | リズムに合わせて2本のスティックを打ちつけ、右へ移動していく。 | | | | |
| ポンポンキャッチ | チームで輪になり、ふわふわボールをパスし、ホームに戻る。上達したら個数をふやす。 | | | | | |
| ※仲間づくりゲームとして、用具の貸し出しができます。 | | | | | | |
| まとめ | ○感想や学んだことなどを皆で共有する。 ○振り返りを通して感じたことを、整理して学びとして定着させる。 ○活動で得た学びは、日常生活でも生かしていくよう促す。 | | | | | |
| 評価 | ○ゲーム中や振り返りの時に、自分の意見を発言したり、他者の意見を聞くことができたか。 ○グループの中で、積極的に活動に参加し、達成の喜びを共有できたか。 | | | | | |
| 発展 | ○GGGでの学びを次の活動や日常生活でも生かしていくよう、団体指導者から随時伝えていくこともできる。 | | | | | |